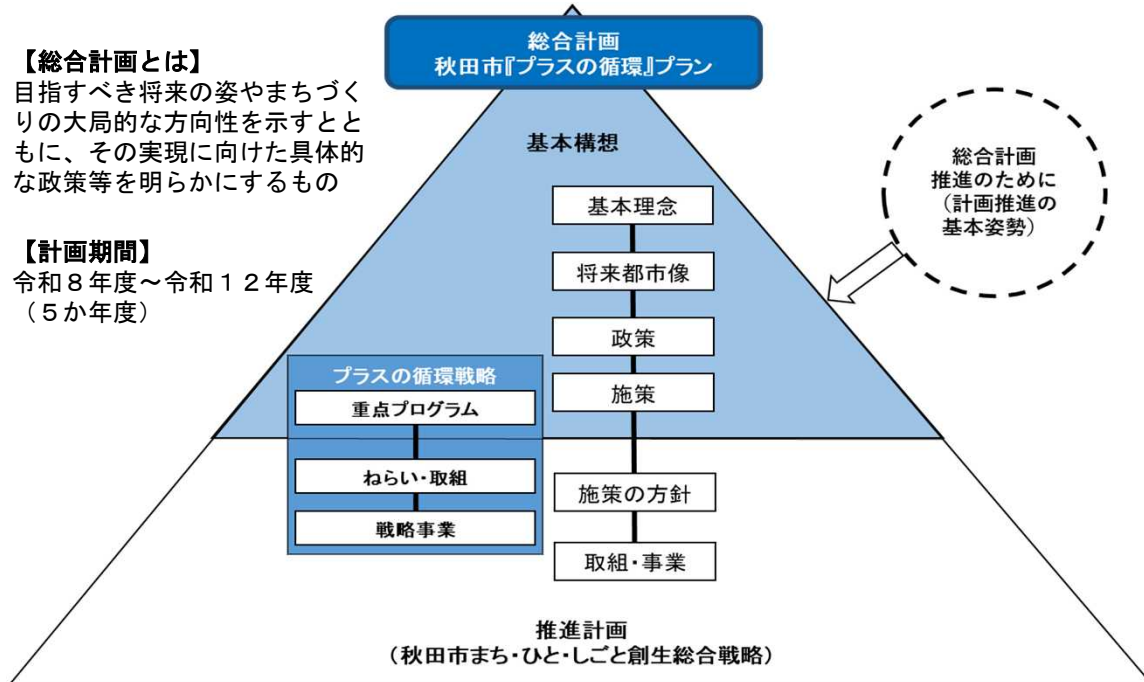


1 (仮称) 秋田市『プラスの循環』プランの体系

【総合計画とは】
 目指すべき将来の姿やまちづくりの大局的な方向性を示すとともに、その実現に向けた具体的な政策等を明らかにするもの

【計画期間】
 令和8年度～令和12年度
 (5か年度)



基本構想 (5年間の目標とそれを実現するための基本的な考え方)	基本理念	目指すべき本市の姿
	将来都市像	基本理念のもとに目指す大局的な方向性
	政策	将来都市像実現に向けた政策
	施策	政策に基づく取組の方向性
	プラスの循環戦略	将来都市像別の体系にとらわれずに、一体的かつ集中的に経営資源を投入して取り組むべき分野
	重点プログラム	各戦略の実現のための方策
推進計画 (秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略と統合) (具体的な取組)	総合計画推進のために(計画推進の基本姿勢)	総合計画の推進にあたって、市職員が共通して意識していくべき基本姿勢
	取組・事業	施策の方針に基づく個別の事務事業
	戦略事業	重点プログラムに基づくねらい達成のための個別の事務事業
	数値目標・KPI	各戦略・各重点プログラムにおける目標を数値化した指標

2 基本理念

響きあう 心躍る 人・まち・暮らし
 ～ 共感と共創で輝く秋田市へ ～

人口減少・少子高齢化が進行する中、地域の活力を高め、心豊かな暮らしを次の世代に引き継いでいくためには、市民一人ひとりの毎日が輝いていなければなりません。

- 年齢や性別などを問わず、自分らしくいきいきと輝いている「人」
- にぎわいにあふれ、多彩な魅力に満ちている「まち」
- 四季の移り変わりのように彩り豊かで、心うるおう「暮らし」

本市では、前計画の基本理念「ともにづくり ともに生きる 人・まち・暮らし」のもと、市と市民が協力しあいながら、その実現に取り組んできました。こうしたこれまでの取組を土台としながら、さらなる発展につなげていくためには、自分らしい生き方や可能性の追求、新しいことへの挑戦をためらわない環境やまちの雰囲気が必要であり、それぞれの個性や価値観を互いに尊重し、共感しあう社会を築くことが求められます。

共感とは、多様性と寛容性から生まれ、誰にとっても心地よくらしと、個性や能力を発揮できる居場所や仲間をつくります。人と人が交わり、体験を共有し、喜びをわかちあうことを通じて、新たな価値を創造する共創へとつながります。

市と市民、市民と市民の対話を大切にしながら、共感と共創を通じて、人・まち・暮らしがいたるところで響きあい、心を躍らせ、輝きあう毎日の実現を目指していきます。

3 将来都市像

- 1 豊かで活力に満ちたまち
- 2 多様な主体でつくる元気なまち
- 3 人と文化をはぐくむ誇れるまち
- 4 健康で安全安心に暮らせるまち
- 5 緑あふれる持続可能なまち

主に「経済」や「社会増」に関わること(将来都市像1)、主に「人」や「市民協働」に関わること(将来都市像2・3)、主に「暮らし」や「安全安心」に関わること(将来都市像4・5)で構成

※将来都市像ごとの政策・施策の体系は、「(仮称)秋田市『プラスの循環』プラン基本構想(原案)」の26～27ページに掲載

4 総合計画推進のために（計画推進の基本姿勢）

- ① 行財政のさらなる効率化を図ります
- ② デジタル化を推進します
- ③ 対話によるまちづくりを推進します
- ④ 市民協働と絆づくりを推進します
- ⑤ シビックプライド（まちへの誇りと当事者意識）の醸成を図ります
- ⑥ 伝える、伝わる広報・PRを推進します

5-1 （仮称）プラスの循環戦略

【人口の社会増への転換と持続可能な社会の実現に向けて】

民間事業者が「稼ぐ」ための環境づくりとサポートを徹底して行い、民間収益の増加を図りつつ、市の税収増につなげるとともに、ふるさと納税など市が自ら財源獲得に取り組むことにより、民間と行政がそれぞれ「稼いだ」原資を、こどもや若者、医療、福祉、防災・減災など、「ひと」と「まち」に再投資することで、まち全体の価値を高め、さらなる民間投資を呼び込み、地域全体が持続的に発展していくという「プラスの循環」の創出を目指します。

戦略1 「地域産業の活力を高め、働きがいのあるしごとの場をつくる」

戦略2 「まちの魅力を高め、秋田市への新しいひとの流れをつくる」

戦略3 「こども・若者の希望が叶うまちをつくる」

戦略4 「誰もが健康でいきいきと暮らせるまちをつくる」

戦略5 「災害に強く、安全安心で持続可能なまちをつくる」

※ 「（仮称）秋田市『プラスの循環』プラン推進計画（原案）」60～75ページに、戦略ごとの数値目標、重点プログラムごとのKPI、ねらい、計画期間内の取組、戦略事業を掲載

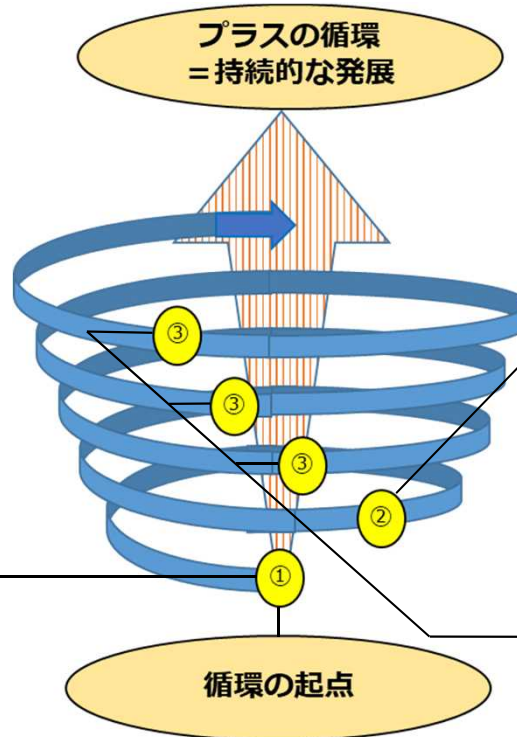
5-2 「（仮称）プラスの循環戦略」のイメージ

①民間事業者が「稼ぐ」ための環境づくりとサポート

- ・ 企業誘致の促進、市内企業の事業拡大等の産業活性化
- ・ 交流人口、関係人口、移住者の増などによる外貨獲得

【戦略1】
地域産業の活力を高め、働きがいのあるしごとの場をつくる

【戦略2】
まちの魅力を高め、秋田市への新しいひとの流れをつくる



②人・暮らし・未来への投資

- ・ ①により民間と行政がそれぞれ得た原資を「ひと」と「まち」に再投資し、まち全体の価値を向上

【戦略3】
こども・若者の希望が叶うまちをつくる

【戦略4】
誰もが健康でいきいきと暮らせるまちをつくる

【戦略5】
災害に強く、安全安心で持続可能なまちをつくる

③まち全体の価値の高まりとさらなる民間投資の促進、持続的な発展

- ・ ①と②を経て、さらなる民間投資を呼び込むことで、より大きな①と②の循環に発展